

敷島中の未来を創る～生徒総会から～

今週は、気温の高い日が続いています。梅雨入りの前にもう夏が来たようです。さて、6月7日（金）に生徒総会が行われました。生徒会本部役員のみなさんは、これまでたくさんの時間をかけて、この日のために準備をしてきました。生徒会本部が提案した「スローガン」や「重点活動（活動の柱）」は、今年一年を貫く目標として十分なものでした。生徒会活動スローガン「五百花繚乱」（全校生徒が今年度500名ということもあり）の設定理由には「生徒一人一人の個性が尊重され、高めあうことができる」ように、全校生徒全員で創っていきたく伝えていました。キーワードは“目標”です。目標を達成するにはどうしたらいいかというと、①振り返りをする②理想や目的を再認識する③他人の指摘を受け入れることが大切です。この3つを意識して一日一日を繰り返していけたら、成長は必ず実感できると思います。また、3つの重点活動（活動の柱）にもそれぞれ重要な意味があると思います。

活動の柱（1）〈日常生活の向上〉では、この活動を通して、自分自身を高め、仲間と共に成長し、毎日が笑顔であられるような学校生活を実現できると思います。

活動の柱（2）〈つながり〉では、「こうなりたいと思う自分」を互いに意識し、「こうありたいと思う学校」を目指すために必要不可欠な活動です。活動の柱（1）・（2）とも、“気づき”と“声かけ”を意識して、互いに成長していくことをめざしていきましょう。

活動の柱（3）〈伝統の発展〉では、これまでの敷島中のよき伝統を継承しつつ、新たな敷島中を創りあげていくとする思いを強く感じることができました。

最も議論が熱くなったのは、〈伝統の発展〉のなかの「きまり」と「心得」についてです。「心得」は「きまり」を受けて敷中生自身が「自分たちの手できまりをしっかり守ろう」という気持ちで定めていきたいと本部から提案がありました。「学校のきまり」は何のためにあるのでしょうか。「学校のきまり」によって、管理したり、縛ることが目的ではありません。学校という大きな集団のなかで、一人一人が楽しく有意義な学校生活を送るためのものです。「ルールは私たちがよりよい社会生活を送るために、未来を守るために存在しなければならない」ものだと思います。しかし、制服のときと同様に、「あれ、これっておかしいな」と思うものもあります。ジェンダー平等を実現しようと「多様性と利便性を兼ね備えた制服」を導入したように、考えていく必要があると感じていました。そして、考えていく過程で生徒会本部のみなさんを中心に全校生徒のみなさんにも一緒に考えてほしいと思いました。心得について今後考えていくときにも、みなさんには「こうなりたいと思う自分自身」の姿や「こうありたいと考える学校」の姿を問い続け、よりよい学校生活を送ることができる理想の姿を共有すること、みなさん一人一人が数年後に社会へ出て行くために、どのような中学校生活を送るべきかを一人一人が真剣に考え、判断する力を高めていくことが大切だと思います。「理想・敬愛・使命」校歌のなかに歌われている言葉です。これらの言葉のように、みなさんには、こうなりたいと思う理想の自分自身をイメージし、他者を敬い、協働していき敷島中のこれまでの素晴らしい伝統を引き継ぎ、さらに発展させていってほしいと思っています。

このように「みんなでさらによりよい学校をつくるために」「より輝く学校をつくるために」という考えのもと、みなさんが中心となって、対話をしていき、未来の敷島中をつくる礎をつくってほしいと思います。きまりや心



得について考えていく過程で、全校生徒が参加していく……。本校のような取組を行う学校は、まだ甲斐市にはありません。山梨県内でも少ないと思います。そして、この一大プロジェクトを成功させるためには、多くの時間やエネルギーが必要になると思います。しかし、今の生徒会本部のみなさんや最上級生である3年生、そして、それを支え、頑張ろうとする1、2年生であれば、そして今の敷島中学校の先生方が協力すれば、きっとやり遂げることができると思います。この取組を通して、みなさんがこの敷島中学校を誇りに思い、「一人一人を大切にする学校」となることを期待しています。

どうでもいいことなど一つもない～書く力が核になる～

昨年度までは、この時期には中巨摩総合体育大会が実施されていました。今年度からは、県総合体育大会の予選となる男女ソフトテニス、女子バレー、男女バスケ、野球のみが中巨摩支部大会を行います。(男女バスケ、野球については今週末が中巨摩支部の大会となります)他の競技については交流試合として実施されているところが多いようです。また、先週末までは、各競技で県選手権大会が実施されていました。男子バレーの県5位入賞、サッカーは県7位～8位決定戦に今週末臨みます。そして、9日(日)には女子バスケの県大会決勝がありました。終始押され気味の苦しい展開が続き、最大10点リードをされていました。しかし、終了間際に追いつき、延長まで粘りましたが、相手の高さに苦しみ、残念ながら準優勝でした。しかし、3年生を中心に、最後まであきらめずに果敢に攻め続け、走り続ける姿に感動と勇気をもらいました。

さて、来週6月21日(金)からは、27日(木)、28日(金)に実施される定期テスト(期末テスト)に向けて学習強化週間になります。1年生にとっては初めての期末テストになります。全校生徒のみなさんには、中間テストでの反省を活かして、自己ベストをめざして挑戦してほしいと思います。

どうでもいいことなど 一つもない

毎日の清掃 給食の準備 宿題はもとより 毎日しっかり日記に書く

忘れ物をしないこと 一枚のプリントの記名にいたるまで

どうでもいいことなど 一つもない

自主ノートや一枚のプリントや宿題 さらにには日々の清掃などに 本気で取り組むか

それとも「どうでもいい」と考えて 表面だけを取りつこうか

その差は ほんのわずかなように見えるが やがては決定的な差を生む (著:有正 省三)

敷島中では自分を変えようと前向きな気持ちで全学年の生徒が学校生活を過ごしています。一つずつ小さなことからできるようにしていこうじゃないですか。今まで「どうでもいい……」と考えて気を抜いていたようなことからしっかり取り組んでみましょう。みんなでやっていきましょう。みんなでやるとは一人一人がやるということ……。敷島中にはどうでもいいことなど一つもありません。そしてどうでもいい人など一人もいません。頑張りましょう。

また、敷島中の生徒は、日記(1年:デイリーライフ、2年:じぶんログ、3年:じぶんログ)に日々のことや思いを書き続けています。「**書く力は思う数倍!**」という言葉があります。書くことで思いがカタチになります。日記を書くことは、自分を見つめたり、自分と向き合う大切な方法です。また、日記に前向きな言葉、夢、目標を記していくことが、その達成の第一歩になるでしょう。たった一度の中学校生活です。そのかけがえのない日々を「自分史」として日記(1年:デイリーライフ、2年:じぶんログ、3年:じぶんログ)に記していくことは有意義です。

書くは学びと成長の核となります。期末テストへの強化週間の取組が来週からはじまるこの機会に、勉強も日記もしっかり「書くこと」に意識を向けてはどうでしょうか。

